

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	エースコート No.29
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名	出光NTG株式会社
住所	212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア東館15階
電話番号	044-386-1659
FAX番号	044-386-4159
緊急連絡電話番号	078-731-8147
製品コード	456100401
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	工業用途

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性 (吸入)	区分4
	皮膚腐食性 / 刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分2
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1 (中枢神経系, 腎臓, 肝臓, 呼吸器系)
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分3 気道刺激性
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分3 麻酔作用
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1 (神経系, 呼吸器系)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分2

GHS ラベル要素
絵表示

注意喚起語

危険

危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H315	皮膚刺激。
H319	強い眼刺激。
H332	吸入すると有害。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H351	発がんのおそれの疑い。
H360	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H370	臓器 (中枢神経系, 腎臓, 肝臓, 呼吸器系) の障害。
H372	長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (神経系, 呼吸器系) の障害。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P210	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233	容器を密閉しておくこと。
P240	容器を接地しアースをとること。
P241	防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
P242	火花を発生させない工具を使用すること。
P243	静電気放電に対する措置を講ずること。
P260	ミスト / 蒸気を吸入しないこと。
P264	取扱い後はよく洗うこと。
P270	この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。
P271	屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
P273	環境への放出を避けること。
P280	保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

応急措置

P303 + P361 + P353	皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診察 / 手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
P370 + P378	火災の場合：適切な消化剤を使用して消火すること。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。
------	----------------------------------

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性

その他の情報 なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 眠気又はめまいのおそれ。昏睡。頭痛。吐き気、嘔吐。行為変化 運動機能を弱める。重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。呼吸器への刺激のおそれ。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。浮腫。黄疸。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。

非常事態の概要 熱、火花または炎で発火する可能性がある。吸入すると有害。臓器の障害。眠気又はめまいのおそれ。発がんのおそれの疑い。強い眼刺激。皮膚刺激。呼吸器系に刺激を起こすことがある。生殖に影響を与えることがある。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号			含有量 (%)
		化審法	安衛法		
ウレタン変性アルキド樹脂	登録/非公開	登録/非公開	登録/非公開		32 - 34
キシレン	1330-20-7	(3)-3, (3)-60	(3)-3, (3)-60		33
エチルベンゼン	100-41-4	(3)-28, (3)-60	(3)-28, (3)-60		33
メタノール	67-56-1	(2)-201	(2)-201		< 1.0

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて酸素または人工呼吸。気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合	汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。医師の指示なしに無理に吐かせないこと。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。被災者が本物質を飲み込んだ場合は口うつし人工呼吸を行ってはならない。一方弁を備えたポケットマスクまたはその他の適切な呼吸医療機器を用いて人工呼吸を誘発する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	眠気又はめまいのおそれ。昏睡。頭痛。吐き気、嘔吐。行為変化 運動機能を弱める。重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。呼吸器への刺激のおそれ。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。浮腫。黄疸。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	直ちに汚染された衣服を脱がせる。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察 / 手当てを受けること。気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。（可能ならばラベルをみせる）医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。火傷：直ちに水で洗い流す。洗いながら火傷の部分に付着していない衣服を取り除く。救急車を呼ぶ。病院への搬送中も水洗いを続ける。被災者を保温する。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO ₂)。
使ってはならない消火剤	消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。
火災時の特有の危険有害性	蒸気は、空気と混合し、爆発性混合物を生成することがある。蒸気は発火点までかなりの距離を移動し、フラッシュオーバーすることがある。火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	火災や爆発の場合、煙を吸入してはならない。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	引火性の高い液体及び蒸気。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト / 蒸気を吸入しないこと。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機械	全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生させない工具を使用すること。この製品は水と混合せず、水の表面を拡散する。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。 大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、砂、土などの不燃性物質に製品を吸収させて容器に回収し、後で廃棄する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。 少量の漏出：土、砂またはその他の不燃性物質に吸収させて、容器に移し、後で処分する。吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染物を除去するため、床を徹底的に清掃すること。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。物質を適切な、ふたとラベルがついた容器に入れてください。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等） 製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。火花の出ない工具や防爆器具を使う。防爆型の全体および局所排気型換気装置。屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

安全取扱注意事項 使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。静電気の放電防止策を施す。ミスト / 蒸気を吸入しないこと。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。使用中は飲食や喫煙をしない。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。

接触回避 強酸。強酸化剤。ハロゲン類。詳細については、本SDSの項目10を参照。

衛生対策 あらゆる医学的監視要件を遵守すること。取扱中は禁煙。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。熱、火花、裸火から離して保管する。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。スプリングラーのある場所に置く。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。

安全な容器包装材料 元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 標準監視手順に従ってください。

暴露限界値

作業環境評価基準(昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号)別表

成分	タイプ	数値
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	管理濃度	20 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	管理濃度	50 ppm
メタノール (CAS 67-56-1)	管理濃度	200 ppm

日本産業衛生学会 - 許容濃度

成分	タイプ	数値
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	TWA	217 mg/m3
		50 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	TWA	217 mg/m3
		50 ppm
メタノール (CAS 67-56-1)	TWA	260 mg/m3
		200 ppm

米国. ACGIH 限界値

成分	タイプ	数値
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	TWA	20 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	STEL	150 ppm
	TWA	100 ppm
メタノール (CAS 67-56-1)	STEL	250 ppm
	TWA	200 ppm

生物学的許容値

日本産業衛生学会 - 生物学的許容値

成分	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
キシレン (CAS 1330-20-7)	800 mg/l	メチル馬尿酸(o-, m-, p-) 総量	尿	*

日本産業衛生学会 - 生物学的許容値

成分	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
メタノール (CAS 67-56-1)	20 mg/l	メタノール	尿	*

* - サンプルングの詳細については原資料をご参照下さい。

ACGIH生物学的許容値

成分	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	0.15 g/g	マンデル酸とフェニルグリオキシル酸の計	尿中クレアチニン	*

キシレン (CAS 1330-20-7)	1.5 g/g	メチル馬尿酸	尿中クレアチニン	*
メタノール (CAS 67-56-1)	15 mg/l	メタノール	尿	*

* - サンプルングの詳細については原資料をご参照下さい。

暴露ガイドライン

日本のJSOH 職業曝露限界：皮膚指定

メタノール (CAS 67-56-1) 皮膚から吸収される可能性がある。

米国ACGIH許容濃度：皮膚

メタノール (CAS 67-56-1) 皮膚吸収の危険性

設備対策

防爆型の全体および局所排気型換気装置。適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。洗眼設備および安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸用保護具	作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。
眼、顔面の保護具	データなし。
皮膚及び身体の保護具	適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。不浸透性エプロンの使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体。
形状	粘稠性。
色	黄褐色。
臭い	有機溶剤臭
融点 / 凝固点	データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	136.2 °C (277.16 °F) 推定値
可燃性	該当しない。
爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界	
爆発限界 - 下限(%)	1 % v/v エチルベンゼン
爆発限界 - 上限(%)	7.8 % v/v エチルベンゼン
引火点	22.0 °C (71.6 °F)
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
pH	データなし。
動粘性率	データなし。
溶解度	
溶解度 (水)	不溶
溶解度 (その他)	可溶(有機溶剤)
n-オクタノール / 水分分配係数 (log 値)	データなし。
蒸気圧	データなし。

密度及び / 又は相対密度

密度

データなし。

比重

データなし。

相対ガス密度

データなし。

粒子特性

データなし。

その他の情報

爆発性状

爆発物でない。

酸化能力

酸化性でない。

10. 安定性及び反応性

反応性

本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学的安定性

高温では増粘することがある。

危険有害反応可能性

一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

加熱、火花、裸火、その他の発火源を避ける。引火点を超える温度を避ける。混触危険物質との接触。

混触危険物質

強酸。強酸化剤。ハロゲン類。

危険有害な分解生成物

熱分解温度で、一酸化炭素と二酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性

吸入すると有害。

皮膚腐食性 / 刺激性

皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

皮膚感作性

データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

生殖細胞変異毒性

データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。

発がん性

発がんのおそれの疑い。

ACGIH発がん性物質

エチルベンゼン (CAS 100-41-4)

A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)

キシレン (CAS 1330-20-7)

A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

IARC発がん性評価モノグラフ

エチルベンゼン (CAS 100-41-4)

2B ヒトに発がん性の可能性がある。

キシレン (CAS 1330-20-7)

3 ヒトへの発がん性を分類できない。

日本産業衛生学会 - 発がん性物質

エチルベンゼン (CAS 100-41-4)

2B ヒトに発がん性の可能性がある。

生殖毒性

本製品の成分は動物実験において先天性異常および生殖機能障害を引き起こすことが報告されている。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

臓器 (中枢神経系, 腎臓, 肝臓, 呼吸器系) の障害。呼吸器への刺激のおそれ。眠気又はめまいのおそれ。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (神経系, 呼吸器系) の障害。

誤えん有害性

吸引性呼吸器有害性でない。

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分	種	試験結果
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)		
水生		
急性		
甲殻類	EC50	ミジンコ (ダフニア マグナ) 1.37 - 4.4 mg/l, 48 時間

成分	種	試験結果
魚類	LC50	アトランティックランブローズ(Atlantic Silverside) (Menidia menidia)
キシレン (CAS 1330-20-7)		
水生		
急性		
魚類	LC50	ニジマス (Oncorhynchus mykiss)
メタノール (CAS 67-56-1)		
水生		
急性		
甲殻類	EC50	ミジンコ (ダフニア マグナ)
魚類	LC50	ファットヘッドミノー (Pimephales promelas)
生態毒性	水生生物に非常に強い毒性。 長期継続的影響によって水生生物に毒性。	
残留性・分解性	混合物中のどの成分も分解性について利用可能なデータはない	
生態蓄積性		
生体内蓄積の可能性		
オクタノール / 水分配係数 log Kow		
エチルベンゼン	3.15	
メタノール	-0.77	
土壤中の移動性	この製品は水と混合せず、水の表面を拡散する。	
オゾン層への有害性	データなし	
他の有害影響	その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは予想されない。	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。 空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。 本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない (「廃棄上の注意」 参照) 。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。 薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないこと。 内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA	
UN number	1263
UN proper shipping name	Paint related material (including paint thinning or reducing compounds)
Transport hazard class(es)	
Class	3
Subsidiary risk	-
Packing group	II
Environmental hazards	No.
ERG Code	3L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	Allowed with restrictions.
IMDG	
UN number	1263

UN proper shipping name	PAINT (including paint, lacquer, enamel, stain, shellac, varnish, polish, liquid filler and liquid lacquer base) or PAINT RELATED MATERIAL (including paint thinning or reducing compound), MARINE POLLUTANT
Transport hazard class(es)	
Class	3
Subsidiary risk	-
Packing group	II
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-E, S-E
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される 液体物質	未確定。
一般情報	IMDGに定める海洋汚染物質。
国内規制	国内輸送については 15 章の規制に従うこと。
応急措置指針番号	128

15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

第二類物質

エチルベンゼン(塗装業務に限る)

有機則

第二種有機溶剤

キシレン

通知対象物

エチルベンゼン

別表第9 政令番号 70

メタノール

別表第9 政令番号 560

キシレン

別表第9 政令番号 136

表示対象物

エチルベンゼン

メタノール

キシレン

がん原性が認められた化学物質

エチルベンゼン

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

エチルベンゼン

メタノール

キシレン

届出不要物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

エチルベンゼン	政令番号 53	33 %	(エチルベンゼン)
キシレン	政令番号 80	33 %	(キシレン)

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

消防法

第四類第二石油類(非水溶性液体) 危険等級III

船舶安全法・危規則

引火性液体類

航空法・施行規則

引火性液体類

火薬類取締法

該当せず。

海洋汚染防止法

エチルベンゼン	Y類
メチルアルコール	Y類
キシレン	Y類
キシレン及びエチルベンゼンの混合物(エチルベンゼンの濃度が十重量パーセント以上のものに限る。)	Y類
キシレン及びエチルベンゼンの混合物(エチルベンゼンの濃度が十重量パーセント以上のものに限る。)	Y類

大気汚染防止法

メタノール

悪臭防止法

キシレン

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

本製品安全データシートの内容は、発行時点において、正確を期して記載しております。記載された情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、排出の手引きとして作成されたものであり、保証または品質の仕様ではありません。この情報は、記載された特定の物質にのみ関連したものであり、そのように明記されていない限りは、この物質が他の物質と一緒に使われた場合やその他の処理には当てはまりません。